

第 1 回千葉市新基本計画審議会第 1 部会における意見への対応の方向性
 (「環境・自然」、「安全・安心」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
1	当日意見	環境・自然			6	～親しめる潤いある暮らしを次世代につなげられるよう、自然と調和したまちづくりを進める必要があります。	分野目標の一番最後に、「暮らしを次世代に継承する自然と調和したまちづくり」とあるが、次世代に継承するために今ある暮らしを残すという、現役世代は義務感を抱くのではないか。 例えば、暮らしを享受あるいは楽しみといった言葉を追加し、ワクワク感を出してはどうか。 また、文章中に「身近に緑と水辺を感じ」とあるが、「緑と水辺を身近に感じ」の方が自然ではないか。	松永副部長	ご意見の趣旨を踏まえ、記述を検討します。	【P6 分野 1 分野目標】 ・感染症への対応を契機として、テレワークや在宅勤務などの新しい働き方が普及・浸透する中、日常生活において <u>緑と水辺を身近に感じ</u> 、親しめる潤いある暮らしを <u>享受するとともに</u> 次世代につなげられるよう、自然と調和したまちづくりを進める必要があります。
2	当日意見	環境・自然			6		分野目標の言葉の結びについて、ワクワク感を創生するため「進めます」といった表現にしてはどうか。	中島委員	ご意見のとおり、未来に向けた取組みを進めるにあたり、「ワクワク感」は必要な要素だと認識しております。 分野目標の文章では、各分野の背景や課題を記載しておりますので、そのことが分かるよう記述を検討します。	分野目標と文章の間に、次の文章を追加する。 ■目標達成に向けた課題
3	当日意見	環境・自然			6		全ての分野を通じて、分野目標の中で、もう少し災害と結び付けて記載できないか。 分野 1 では、緑と水辺の活用と充実について、平常時と災害時の両方を意識して政策を考える必要がないか。	浅野委員	ご意見のとおり、災害への対応等はすべての分野に共通する課題であると認識しております。 そのため、総論の戦略的視点(1)において、「災害に強い、安全・安心なまちづくり」を分野横断的な視点として位置付けておりますので、原案のままとします。 また、緑と水辺の活用と充実については、ご意見のとおり、緑と水辺は重要な社会基盤として認識しておりますので、政策 2 のリード文について記述を検討します。	【P9 分野 1 政策 2 リード文】 身近な緑と水辺を感じ、愛着の持てる環境を創るため、緑空間を <u>有するグリーンインフラとして活用し充実させるとともに</u> などとして、都市緑化を推進します。さらに、川辺や海辺などの水辺環境の保全と活用を推進します。 <脚注追記> <u>グリーンインフラ：自然環境が有する多様な機能を、社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方。</u>
4	当日意見	環境・自然	1	1	7	施策 1 気候変動への対応	施策 1 の「気候変動への対応」について、施策として大きすぎるように感じる。再生可能エネルギーや省エネルギーといった具体的な施策名の方が良いのではないか。	轟部会長	ご意見を踏まえ、施策名などから取組みがイメージしやすいよう、記述を検討します。	【P7 分野 1 政策 1 リード文】 持続可能な社会を創るため、脱炭素化を推進し、 <u>地球温暖化対策に向けた</u> 取組みを進めるとともに、良好な自然環境及び生活環境を保全します。また、循環型社会の実現に向けた、ごみの削減と適正処理を推進します 【P7 分野 1 政策 1 施策 1】 <施策名> <u>地球温暖化対策の推進</u>
5	当日意見	環境・自然	1	1	7	施策 1 気候変動への対応	施策 1 の「気候変動への対応」は、分野目標にも掲げている文言と同じであるため、違和感がある。	石河委員		<リード文> ・脱炭素化の取組みや、再生可能エネルギーの創出・活用などを進めるとともに、自然災害や健康被害の防止・軽減への取組みなど、「緩和」と「適応」の両面から <u>地球温暖化対策を推進</u> します。

第1回千葉市新基本計画審議会第1部会における意見への対応の方向性
 (「環境・自然」、「安全・安心」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
6	当日意見	環境・自然	1	1	7		気候変動への対応は、市民が生活の不便さのある程度受け入れる必要があるかもしれないと思う。そのため、利便性の追求から地球を守るという意識の転換を、市としても教育・啓発していく必要があるのではないか。 ドイツでは、環境への意識が強く、車通勤から自転車通勤へ変えるなど、みんなで地球を守る・気候変動に対応しようという感覚が広がっている。これは市民の協力がないと進まないと思うため、そういった文言あるいは活動を取り入れていくと良いと思う。	市田委員	ご意見を踏まえ、気候変動に対する具体的な行動事例を、主な取組みに例示として記述します。	【P7 分野1 政策1 施策1 主な取組み】 ・自然災害や健康被害などの影響へ備える適応策の推進 ・気候変動に対する行動変容の促進(各種イベント等での啓発など)
7	当日意見	環境・自然	1	1	7	・再生可能エネルギー・省エネルギー等の普及促進(脱炭素化投資等の促進など)	主な取組みについて、「再生可能エネルギー・省エネルギー等の脱炭素化投資の促進」が適切ではないか。 カーボンニュートラルは、ビジネスとして儲かるものでないと実現できない。2050年までに様々な投資が行われ、建築物や耐久消費財などに省エネ型を導入し、ゼロエネルギービル・ハウスへ転換していく必要がある。 それらを明確にすればビジネスにつながるため、この部分は「投資」にした方が良いと思われる。	倉阪委員	ご意見を踏まえ、主な取組みを修正します。	【P7 分野1 政策1 施策1 主な取組み】 ・脱炭素化投資の促進(再生可能エネルギー・省エネルギー等に係る設備の導入など)
8	当日意見	環境・自然	1	1	7	・再生可能エネルギー・省エネルギー等の普及促進(脱炭素化投資等の促進など) ・広域連携による再生可能エネルギーの調達	「再生可能エネルギーの普及促進」や「広域連携による再生可能エネルギーの調達」について、広域でやるとコストもかかるため、地域発電を記載してはどうか。 農業水路を利用した小規模水力発電などは、可能ではないか。	中島委員	ご意見のとおり、エネルギーに関する施策については、本市の人口とその暮らしを支えるため、様々な手段を検討していく必要があると認識しております。	-
9	当日意見	環境・自然	1	1	7	・広域連携による再生可能エネルギーの調達	広域連携による再生可能エネルギーの調達について、千葉市くらい人口の大きい都市では、省エネ・再エネに努めても市内だけで脱炭素化を実現することは困難である。 地方と連携し、地方から調達することも考えざるを得ないと思う。	倉阪委員	今後、本市の実情にあった具体的な取組みについて、実施計画等において検討してまいります。	
10	当日意見	環境・自然	1	3	8	環境負荷に配慮したごみの削減と適正処理	「環境負荷に配慮したごみの削減と適正処理」について、我々も食品フードロスに相当力を入れて企業とともに取り組んでいる。 食べ物については、消費せずに処分される量がすさまじいものとなっているので、もう少し記載すべきではないか。	石河委員	ご意見を踏まえ、記述を検討します。	【P8 分野1 政策1 施策3】 <リード文> ・ごみの発生抑制や、分別の徹底等による再資源化に取り組み、持続可能なごみ処理体制を整備します。 <主な取組み> ・ごみの総排出量のさらなる削減(プラスチックごみの発生抑制、食品ロスの削減など) ・再資源化の推進(プラスチックの再資源化の検討など) ・持続可能なごみ処理体制の確保

第1回千葉市新基本計画審議会第1部会における意見への対応の方向性
 (「環境・自然」、「安全・安心」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
11	当日意見	環境・自然	1	3	8	・食品ロスの削減などごみの発生抑制、ごみ分別の徹底等による再資源化に取り組み、持続可能なごみ処理体制を整備します。	「食品ロスの削減等などごみの発生抑制」について、そもそもごみを出さない社会という取組みを考えて良いのではないかと。	中島委員	ご意見のとおり、ごみを排出しないという考えは、非常に重要であると認識しております。なお、本市はこれまでも、市内飲食店・ホテルと連携した食べきりキャンペーンや、家庭で余っている食品を回収し、ボランティア団体を通じて必要としている人に寄贈する「フードドライブ」の実施などに取り組んでおります。本市の削減状況に応じた具体的な取組みについては、実施計画等において検討してまいります。	-
12	当日意見	環境・自然	2		9		施策の実施は、行政だけでできる問題ではないため、「ボランティアの活用」を入れてはどうか。	加藤委員	ご指摘のとおり、まちづくりを進めるにあたっては、行政だけでなく、市民をはじめとする多様な主体との一層の連携が重要であると認識しております。多様な主体の連携によるまちづくりについては、分野5「地域社会」の政策2に位置付けておりますので、ご意見を踏まえ、記述を検討します。なお、ボランティアの活用に関する具体的な取組みについては、今後、実施計画等において検討してまいります。	【P38 分野5 政策2 リード文】 人口減少を始めとした様々な課題が存在する中でも、地域の担い手を確保し、持続可能なまちづくりの体制を構築するため、町内自治会や市民活動団体、事業者など多様な主体が関わる地域コミュニティの育成支援に加え、既存の役割分担に捉われない柔軟な連携を推進します。また、市民一人ひとりが。
13	当日意見	環境・自然	2		9	・魅力ある公園づくり(大規模公園等の魅力向上、街区公園等整備、官民連携による賑わい創出等)	政策2で「魅力」が使われているが、魅力には様々な意味があると思う。千葉市で生まれ育ち、まちの風景を見てきたが、これまで生活の中で、緑と水辺をあまり感じなかった。こうした基本方針のもと、市民と一緒に取り組むにあたっては、市民が本当に便利で楽しいと感じられる形になると良いと思うので、市民がこの計画を読んだときに、生活の中で公園を楽しんでいるイメージをしてワクワクできるような言葉が、「魅力」の中に具体的に入ると良い。	秋元委員		【P9 分野1 政策2 施策1】 ＜リード文＞ ・官民連携等による公園の魅力向上や公園施設の長寿命化など～ ＜主な取組み＞ ・魅力ある公園づくり(大規模公園等のリニューアル、地域のニーズに応じた街区公園等整備、官民連携による賑わい創出など)
14	当日意見	環境・自然	2		9		公園など様々な施設は、多様な人がアクセスしやすく、安心して利用できることが大前提である。欧米では、ゆっくりくつろぐ公園と、スポーツなど遊べる公園を分けているところもあり、足立区では、子どもが騒いでも問題ない公園と、くつろげる公園を分けるといった試みもある。また、障害のある方などアクセシビリティにハードルを持っている方でも使いやすいようにする、女性や子どもでも犯罪等を気にせず安心して過ごせる場所にするというように、もう少し具体的に、そして暮らし目線や人の目線で「魅力」の中身を記載しないと、抽象的になり、革新的な政策にも繋がらない。	浅野委員	ご意見を踏まえ、「魅力」の具体的な内容が伝わる様、記述を検討します。	【P9 分野1 政策2 施策3】 ＜リード文＞ ・海辺や浜辺を活用した賑わいづくりや川辺の利活用を推進するとともに、豊かな水辺環境の保全を推進します。 ＜主な取組み＞ ・海辺・浜辺の魅力向上(人工海浜を活用した賑わいづくり、回遊性の向上など) ・川辺の利活用(親水空間の整備、周辺自治体と連携した賑わいづくりなど)

第1回千葉市新基本計画審議会第1部会における意見への対応の方向性
 (「環境・自然」、「安全・安心」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
15	事前意見	環境・自然	2		9		環境・自然について、地域経済の政策3に記載されている都市農業や、全体の中で記載のない里山を記載してはどうか。 【理由】 都市農地や里山は、面積で見るとそれなりの割合を占めており、千葉市の暮らしの魅力の1つにもなっている。また、荒廃することで地域の景観、安全性の低下にも繋がる。 なお、農地については、平成29年の都市緑地法等の改正により、緑の基本計画に農地を緑として書き込むことが可能になっている。	秋田委員	ご意見のとおり、都市農地や里山は本市の魅力と認識していますので、記述を検討します。 また、古民家の活用については、今後、実施計画等において検討してまいります。 なお、都市農地については、概要の分野1に記載していませんが、本編の分野1政策2施策1では、「都市と緑・農の共生推進」として位置付けております。 また、同様に分野8政策3施策3においても、「多様な機能を有する都市農地の保全と活用」として位置付けております。	【P7 分野1 政策1 施策2 リード文】 ・谷津田・ <u>里山</u> 及び水環境の保全等に取り組むことで、生物多様性を育む、潤いある緑と水辺に代表される本市の自然環境を守るとともに、大気、水及び土壌汚染対策などに取組み、良好な生活環境を保全します。 【P58 分野8 政策3 施策3 リード文】 ・有害鳥獣対策を強化し、良好な農村環境の維持を図るとともに、地域ぐるみで森林・ <u>里山</u> の保全活動に取り組む体制を整備し、安全な森林環境の維持・保全を図ります。
16	当日意見	環境・自然	2		9		施策2について、今後、里山と古民家を活用していかないと、人口が減り、千葉市でも限界集落のようなどころが出てくると思われる。 そのため、「古民家」という言葉も記載してはどうか。	加藤委員		
17	当日意見	環境・自然	2	2	9	・まちなかの再開発等にあわせた質の高い緑の空間の創出	千葉県内で人口の増加率が非常に高い市に話を聞くと、そのポイントは緑だと伺った。 また、非常に考えられたデザイン性と、千葉の資源・木を使った緑をつくられており、大変感心した。 そういう意味で、施策2の「まちなかの再開発等にあわせた質の高い緑の空間の創出」について、今後、多くの人・子育て世代の人に住んでもらうためにも、緑をどのようにつくっていくかが非常に大切だと思うので、この「質の高い」をもう少し具体的に書いた方が良いのではないかと。	細田委員	ご意見の趣旨を踏まえ、「質の高い」の具体的なイメージが伝わるよう、記述を検討します。	【P9 分野1 政策2 施策2 主な取組み】 ・まちなかの再開発等にあわせ、 <u>良好な景観の形成等により市民にとって居心地がよく、また生物の生息環境となりうるような質の高い緑空間の創出</u>
18	当日意見	環境・自然	2	3	9	・海辺・浜辺の魅力向上 ・川辺の利活用 ・良好な水辺環境の保全(谷津田及び水環境の保全など)	千葉市は海辺があることが大きな魅力であるが、「海辺の保全」についても記載した方が良いのでは。	中島委員	ご意見のとおり、浜辺とともに「海辺の保全」についても重要であると認識しております。 「海辺」について、No13、14の施策3のリード文にて記載を検討しております。また同様に浜辺についての記載を主な取組みにて記載を検討いたします。	【P9 分野1 政策2 施策3 主な取組み】 ＜リード文＞ ・ <u>海辺や浜辺</u> を活用した賑わいづくりや川辺の利活用を推進するとともに、豊かな水辺環境の保全を推進します。 ＜主な取組み＞ ・良好な水辺環境の保全 (<u>浜辺</u> 、谷津田及び水環境の保全など)
19	当日意見	安全・安心			11		分野目標において「様々なリスク」とあるが、リスクとは良い方にも悪い方にも使う。日本では、危険性として捉えることが多いためこのままでも良いと思うが、少し気になった。	中島委員	災害などの例示とともに「リスク」という語句を使用しており、日常生活上の危険や不確実性という意味であることが的確に伝わると考えられるため、現行のままとします。	-

第1回千葉市新基本計画審議会第1部会における意見への対応の方向性
 (「環境・自然」、「安全・安心」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
20	当日意見	安全・安心			11		分野目標において「災害などが発生した場合に、被害を最小限に抑え、速やかに復旧・復興」とあるが、地震や台風などの一過性の災害を想定しているものと思われる。災害によっては一過性ではなく、復旧・復興とは別の対策をとる必要があるものもあるのではないか。	中島委員	ご意見を踏まえ、災害の被害を減らす文言や、復興まちづくりに関する記載を分野目標に追記し、内容がより明確化するよう記述を検討します。 また、一過性ではない災害対応については、今後、検討していく必要があると認識しておりますので、実施計画等で検討してまいります。	【P11 分野2 分野目標】 ・本市におけるこれまでの被災経験や災害リスクを踏まえ、災害に強いまちづくりを推進するため、風水害や地震に備える都市基盤整備はもとより、単なる現状回復である「復旧」にとどまらず、将来に向けて地域や産業を活性化させる「復興」を速やかに実現できるよう、行政をはじめ、多様な主体が連携し、一体となり防災・減災力の向上を図ることが必要です。
21	当日意見	安全・安心			11		災害とうまく付き合いながらという点では、減災という言葉が良いかもしれない。	轟部会長		
22	当日意見	安全・安心			11		分野目標の「自助・共助・公助」について、「自助・共助・公助一体による防災力の向上」など一言追加すると、内容が明確になると思う。	中島委員		
23	当日意見	安全・安心			13		復興の過程でも、復興まちづくりのような考え方が見えても良いと思う。	轟部会長		
24	当日意見	安全・安心			11		職員・市民・企業も含めて様々な主体が、目指すべきまちの姿や取り組むべき政策の領域が見える必要があるため、ある程度抽象度が高い文章も必要である。そして、より踏み込んだ具体的な施策や取組みの中身・指標といったものも、併せて整理する必要がある。	浅野委員	具体的な事業における指標は、実施計画や政策評価において設定します。審議会でもいただいた意見は、今後、活かしてまいります。	-
25	当日意見	安全・安心			12～17		全体として、「ICTの活用」や「テクノロジーを活用」との記載があるが、漠然としており具体的な取組みのイメージが掴めないため、取組みの例示などを追加していただきたい。	市田委員	ご意見を踏まえ、語句を使用している箇所に応じた記述を検討します。	-
26	当日意見	安全・安心	1	1	12	施策1：土砂災害・浸水対策 施策2：生活インフラの適切な整備・管理	政策1について、施策が2つ並んでいるが、施策1は、土砂災害・浸水対策という災害の種類が記載されており、施策2は、整備・管理というやるべきことが記載されており、表現が合っていないと感じるので、整理したほうが良い。	轟部会長	ご意見を踏まえ、施策1及び2の名称を検討します。	【P12 分野2 政策1】 施策1： <u>風水害対策の推進</u> 施策2： <u>地震等に対応した生活インフラの適切な整備・管理</u>
27	当日意見	安全・安心	1	2	12	・住宅の耐震改修助成	主な取組みの「住宅の耐震改修助成」に、ブロック塀の改修や簡易耐震診断のサポートなどを追加してはどうか。	浅野委員	ブロック塀の改修や簡易耐震診断のサポートなども重要な取組みであると認識しております。主な取組みは施策に基づく取組みを例示しておりますので、個別具体的な事業については、実施計画等で検討してまいります。	-

第1回千葉市新基本計画審議会第1部会における意見への対応の方向性
 (「環境・自然」、「安全・安心」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
28	当日意見	安全・安心	2		13	<ul style="list-style-type: none"> 電力・通信の強靱化 断水対策の強化 分野を横断した一元的な防災体制の整備 複合災害への対応体制の構築 復興まちづくり計画の策定 多様な主体との連携による、広域的な災害対応体制の強化 	<p>分野目標において、自助・共助・公助と並べているが、行政の基本計画であるため、行政としての災害対応力の強化に関する全体的な方針があった上で、市民の防災意識向上などの取組みになるのではないかと。</p> <p>そのため、政策2 施策2「災害対応体制の強化」を施策1にしたうえで、主な取組みの「分野を横断した一元的な防災体制の整備」が一番先頭に来なければならないと思う。その次の取組みに、内部の連携も含め、官民連携が平常時からできていないと上手くいかないため、「多様な主体との連携による、広域的な災害対応体制の強化」が来ることで、大きな二つの柱になると思う。</p>	浅野委員	<p>ご意見のとおり、行政としての一体的な施策があったうえで、市民の防災意識に関する施策につなげていく必要がありますので、施策等の順番を入れ替えます。</p>	<p>【P13 分野2 政策2】 <リード文> 多様化・激甚化する災害に対応するため、<u>行政による危機管理・防災対策の充実や民間事業者など多様な主体の連携強化を図るとともに、市民一人ひとりの防災意識の向上や地域コミュニティにおける助け合いの強化</u>などにより、総合的な防災力を高めます。</p> <p><主な取組み> ・<u>分野を横断した一元的な防災体制の整備</u> ・<u>多様な主体との連携による、広域的な災害対応体制の強化</u> ・～</p>
29	当日意見	安全・安心	2	2	13	<ul style="list-style-type: none"> 電力・通信の強靱化 	<p>主な取組みの「電力・通信の強靱化」について、市としてどの程度対応できるのか。市としては分散型の電力を強靱化するというのであれば、具体的に書いた方が良いのではないかと。</p>	松永副部長		
30	当日意見	安全・安心	2	2	13	<ul style="list-style-type: none"> 電力・通信の強靱化 	<p>電力の分散やバックアップが中心の取組みであれば、実現にはネットワークの部分が必要であり、環境・自然の分野における再生可能エネルギーとも関連する項目である。ソーラーパネルであれば災害時も使用できるため、目標を達成するために、同時に進めていける施策ではないかと。</p>	轟部会長	<p>ご意見を踏まえ、取組みの例示を記述します。</p>	<p>【P13 分野1 政策2 施策1 主な取組み】 ・電力・通信の強靱化 (再生可能エネルギー等の普及、通信事業者との連携強化など)</p>
31	当日意見	安全・安心			13		<p>BCP(事業継続計画)について、千葉市として、策定の推進を企業に働きかけることは十分できると思われる。その策定プロセスの中で、行政と地域との連携やどのように災害に対応・復旧するかという視点を一緒に議論しながら、BCP策定を促していくことが非常に有効ではないかと。</p>	浅野委員	<p>企業へのBCP策定の働きかけについては、分野8「地域経済」の政策1 施策2の主な取組みにおいて、「安定的な経緯維持の支援」の例示として事業継続支援を位置付けております。企業におけるBCP策定も安全・安心なまちづくりを進める上で重要であると認識しておりますので、分野2への記述を検討します。</p>	<p>【P13 分野2 政策2 施策1 主な取組み】 ・<u>分野を横断した一元的な防災体制の整備</u> ・<u>多様な主体との連携による、広域的な災害対応体制の強化</u> ・<u>企業による事業継続計画(BCP)策定の支援</u> ～</p>

第1回千葉市新基本計画審議会第1部会における意見への対応の方向性
 (「環境・自然」、「安全・安心」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
32	当日意見	安全・安心	2	2	13	・電力・通信の強靱化	2年前の台風被害において、千葉県では情報収集と情報発信が適切ではなかったと大きな批判を浴びた。その後の検証委員会では、県の南部・東部の状況に関する情報収集が遅れたこと、外国人を含めた適切な情報発信ができなかったことが報告されている。 そこで、千葉市としても、主な取組みに「情報収集・発信力の強化」という文言を入れた方が良いと思う。	松永副部長	ご意見のとおり、様々な媒体を用い、災害情報を発信することは重要であると認識しておりますので、記述を検討します。 なお、本市においては、防災無線のほか、ちばし安全・安心メール、ちばし災害緊急速報メールに加え、各種SNSを用いて情報発信に努めているところです。 今後は、さらなる情報発信の強化や情報発信の方法の周知を図る必要があると考えており、具体的な取組みについては、実施計画等において検討してまいります。	【P13 分野2 政策2 施策1 主な取組み】 ～ ・ <u>情報収集・発信力の強化</u>
33	当日意見	安全・安心	2	2	13		積極的な情報発信に言及してはどうか。 先月、大きな地震があった際、どこから正確な情報を入手すれば良いか分からなかった。 正しい情報は誰もが求めるものであると思うので、例えばSNSやYou Tubeなど、市民に届く情報発信を行っていただきたい。	渡邊委員		
34	当日意見	安全・安心	2	2	13		情報発信は非常に重要であるので、市としてどのように情報発信していくか明確にしてほしい。なお、この情報発信の部分については、防災無線の効果的な活用を盛り込んでいただきたい。	島田委員		
35	追加意見	安全・安心	2	2	13		防災無線の活用について、あすみが丘では、防災無線が多重に聞こえずぎて聞き取れない。防災無線のテストは頻繁にできないと思うが、ご確認いただきたい。 また、防災無線は、聴覚障害者や屋内で聞き取れない場合もあるので、ちばし安全・安心メールを広めたい。 ただし、緊急通知性が低いので、ちばし災害緊急速報メール(エリアメール等)と併用になるかと思う。	中島委員		
36	当日意見	安全・安心	3	3	15	・高齢者の単独世帯の増加などに対応した防火体制の推進や、ICTを活用した効率的な予防業務の運用などにより、火災の未然防止を推進します。	政策3「火災予防の推進」のみ、高齢者を対象とした記載となっている。 高齢者については、火災予防に限らず、交通安全や救急にも関連する問題だが、火災予防だけが高齢者に特化している取組みと認識されてしまうのではないかと。 高齢者に限った安全・安心を示すのであれば、次の分野3「健康・福祉」の政策2施策2になると思われるので、整理していただきたい。	石河委員		
37	当日意見	安全・安心	4		16		政策4の施策1・2について、具体的な取組みが見えてこないのので、市民に求めることを含め、具体的に記載していただきたい。	島田委員	ご意見のとおり、具体的な取組みが見えるよう、記述を検討します。	【P16 分野2 政策4 施策1 主な取組み】 ・防犯対策の推進 ・ <u>地域安全に関する講座等による市民意識の醸成</u> ・市民主体の防犯活動促進による地域防犯力の向上

第1回千葉市新基本計画審議会第1部会における意見への対応の方向性
 (「環境・自然」、「安全・安心」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
38	当日意見	安全・安心	4	1	16		政策4 施策1について、DV虐待の問題を記載すべきではないか。 DV虐待は完全に犯罪であり、人権の視点が欠けると、防犯対策の効果が上がらないと思われる。人権の観点を入れた、教育や暴力防止の啓発を入れ込んでいただきたい。	浅野委員	ご意見のとおり、DVは人権を侵害する行為であるため、DVの防止は重要な取り組みであると認識しております。 ご意見を踏まえ、分野4「子ども・教育」への記述を検討します。 また、犯罪は人権を侵害する行為であるため、人権に関する市民への教育や普及・啓発は重要な観点であると認識しております。 一方、人権尊重は地域・安全に限らず、すべての分野に通じて重要な観点であることから、分野5「地域社会」において、記述を検討します。	【P30 分野4 政策1 施策3 主な取り組み】 ・DV防止・被害者支援の推進 【P36 分野5 政策1 施策1 主な取り組み】 ・人権に関する教育や普及・啓発
39	当日意見	安全・安心	4	2	16	・誰もが安心して円滑に移動できるユニバーサルデザイン化した道路整備 ・交通安全教育の推進	政策4 施策2について、「ユニバーサルデザイン化した道路整備」と「交通安全教育の推進」とあるが、先日起きた八街市での事故を踏まえ、千葉市では実際に通学路の点検を始めていると伺っていることから、市の姿勢を示すうえでも、「通学路の点検と整備」という文言を入れた方が良いのではないかと。	松永副部長	ご意見のとおり、通学路の安全を確保することは、重要な課題であると認識しておりますので、記述を検討します。	【P16 分野2 政策4 施策2 主な取り組み】 ・誰もが安心して円滑に移動できるユニバーサルデザイン化した道路整備 ・通学路等の安全対策 ・交通安全教育の推進 ・安全かつ快適な自転車走行環境整備と駐輪場の整備などの放置自転車対策
40	当日意見	安全・安心	4	2	16		従来のバス・車に加えて、自転車の推進やウォークアブルシティなど色々な移動手段があるため、それを融合したまちづくりや、移動に適切な交通安全を検討しても良いのではないかと。パリのように30キロ制限にするなど色々な方向性があると思うが、交通安全に関してはもう少し踏み込んだ書き方もあると思う。	中島委員	ご意見のとおり、移動手段に応じた交通安全の取り組みは、重要な課題として認識しております。 分野7「都市・交通」において、ウォークアブルや自転車を活用したまちづくりなど多様な移動手段について位置付けておりますので、具体的な取り組みについては、実施計画等において検討してまいります。	-
41	当日意見	安全・安心	4	2	16	・テクノロジーの進展に伴う新たな移動手段やMaaSの普及状況を踏まえながら、誰もが安全かつ快適に共存できる環境を整備するため～	政策4 施策2の「MaaS」について、意味が浸透していると思えないため、脚注を付けた方がよいのではないかと。	秋元委員	「MaaS」については、総論のP24に脚注を付しておりますが、計画書を作成する際には、巻末に脚注一覧を掲載するなど、より分かりやすい内容となるよう留意してまいります。	-
42	当日意見	安全・安心	4	2	16	・テクノロジーの進展に伴う新たな移動手段やMaaSの普及状況を踏まえながら、誰もが安全かつ快適に共存できる環境を整備するため～	政策4 施策2について、ここにMaaSを記載している理由や、放置自転車への対策がどのように安全・安心につながるのか、分かりにくい部分がある。MaaSにより公共交通機関の利用を促すことで、自動車の利用を減らしていくということかもしれないが、少し遠いように感じる。	轟部会長	MaaSと交通安全の関係性が分かりやすい表現となるよう、記述を検討します。 また、放置自転車は通行の妨げになり、事故を誘発する恐れがあることから、自転車走行環境の整備と併せ、対策を講じる必要があると考えております。	【P16 分野2 政策4 施策2】 ・誰もが安全かつ快適に共存できる環境を整備するため、テクノロジーを活用した新たな移動手段やMaaSの導入を踏まえつつ、交差点や歩車道、自転車走行環境を整備するとともに、駐輪場の整備などの放置自転車対策を推進します。

第1回千葉市新基本計画審議会第1部会における意見への対応の方向性
 (「環境・自然」、「安全・安心」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
43	当日意見	安全・安心	4	3	17	・消費者教育の推進 ・SNS等を活用した消費生活相談	政策4施策3の「消費者教育の推進」について、具体的な取組みが想像できないため、取組みの内容や取組みによって期待できる効果について、記載すべきではないか。	秋元委員	ご意見を踏まえ、記述を検討します。	<p>【P17 分野2 政策4 施策3】</p> <p><リード文></p> <p>・多様化する消費者トラブルに対応するため、時代を捉えた消費者教育の推進により、自ら考え行動する自立した消費者を育成するとともに、利便性の高い相談体制を整備し、消費生活の安定・向上を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <p>・消費者教育の推進(悪質商法等の被害防止に関する講座など)</p>
44	当日意見	-					市民への分かりやすさの観点から、特に複数の部局が関係する施策については、担当部局を記載してはどうか。	浅野委員	ご意見のとおり、具体的な担当部局をお示しすることは必要であると認識しております。今後、策定する実施計画においては担当部局を記載いたしますので、基本計画については原案のままとします。	-